

佐世保市立大野小学校の結果・考察・改善策について

住 所：佐世保市原分町 1

校長名：前田 善公

児童数：709名

学級数：29学級

	成 果	課 題	改善に向けた取組
国 語	国語 A では、「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」において全国平均を上回った。	- 国語 A では、漢字を書くことについて全国平均を下回った。 - 国語 B では、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことにおいて全国平均を大きく下回った。	- 各学年において、新出漢字を確実に身に付けさせるための手立てを講じる。 - 読書活動の充実を図る。 - 授業の中で「少人数で話し合う場（学び合い）」を設け、自分の考えをしっかりと持って話し合いに参加させるようにする。
算 数	- 算数 A では、「数量や図形についての知識・理解」において全国平均を上回った。 - 算数 B では、「数学的な考え方」において全国平均を少し上回り、特に「32、40」の二つの数の和が9の段の数になるわけを、分配法則を用いた式に表す問題において、全国平均を上回った。	- 算数 A では、折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができるかを問う問題において全国平均を下回った。 - 算数 B では、示された情報を解釈し、条件に合う時間を求めることができるかを問う問題において全国平均を大きく下回った。	4年生以上の全学級において、習熟度別の少人数指導を実施し、より個に応じた指導ができるようにする。 - 問題の場面や問われていることを理解するために必要な力を身に付けさせるために、活用問題に数多く取り組ませる。
理 科	理科では、全体正答率が全国平均を上回った。特に「自然事象についての知識・理解」においては、全国平均を上回った。	理科では、「科学的な思考・表現」において全国平均を下回った。特に、人の腕が曲がる仕組みを模型に適用できるかを問う問題において大きく下回った。	実験を通して、課題を解決する活動に数多く取り組ませるとともに、結果から結論を導きだすために熟慮させることで科学的な思考力の向上を図る。
児 童 質 問 紙 調 査 の 結 果 か ら	- 将来の夢や目標を持っている児童の割合が高い。 - ある程度、規則正しい生活を送ることができていると言える。	- 家で、学校の宿題をしている児童は多いが、予習や復習をしている児童は少ない。 - 地域の行事に参加している児童の割合が低い。また、地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある児童の割合が少ない。 - テレビのニュース番組やインターネットのニュースは見る児童が多いが、新聞を読んでいる児童は少ない。	- 家庭学習の手引きをもとに、家庭での自主学習の充実を図る。 - 地域の方々を講師として招き毎年実施している体験教室で交流を深めるなどふるさと教育の充実を図り、地域を愛する心情を高める。 - 授業等の中で、新聞を活用する機会を設定する。